

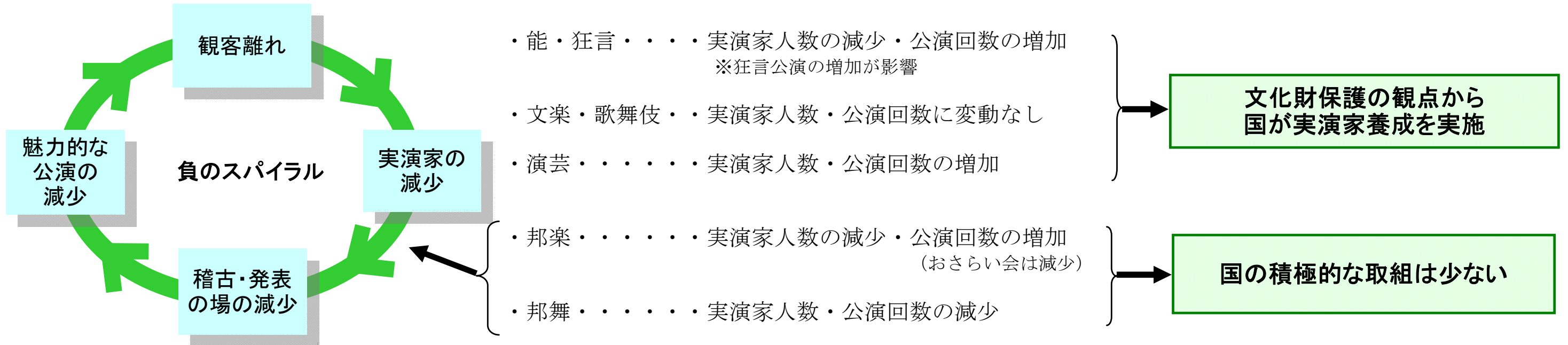
伝統芸能の継承・発展と発信

I 背景

- ・ 伝統芸能は、長い歴史の中で外来の文化と融合しつつ、我が国固有の芸能として発展してきた。
- ・ 明治以後、西洋文化を積極的に導入する政策が推進され、伝統文化・芸能の教育には重きがおかれなかった。
- ・ 戦後、さらに諸外国の文化が大量に流入し、芸術文化が一層多様化した。
- ・ こうした中、伝統芸能の保存・継承については、国の施策により、基本的な部分が充足されている。

貴重な伝統芸能の衰退が危惧

II 現状



III 今後の取組課題

《視点》 伝統芸能は長い歴史の中で受け継がれた我が国固有の財産であるとともに、東京の芸術文化を世界に発信していく上で重要な文化資源

伝統芸能の持つ「日本ブランド」力の海外発信

伝統芸能の魅力を都民が再認識できる仕掛けづくり

伝統芸能の発信拠点について検討